

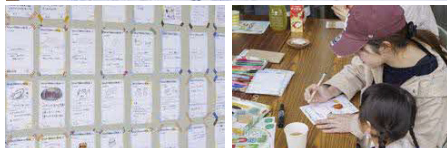
千里の魅力を再発見できるような6つのプログラムを開催しました。テーマは「食」「竹」「子育て」。
それぞれのプログラム内容をご紹介します。

1 千里のおいしい思い出発掘せん？

千里文化センター「コラボ」の2階屋外通路にブースを設けて、千里の食の思い出を来場した方々と共有しました。子どもからシニアまで多様な世代の方々から素敵な絵やコメントを残していただき、これらが描かれた「思い出カード」は70枚も集まり、千里エリアの大きな地図にもプロットしていきました。美味しいコーヒーの香りと多くの人たちの「食の思い出」があふれる楽しい空間となりました。



昔の千里エリアでの「食の風景」を表す写真をブースに掲載することで、来場した方々との対話が広がりました。また、準備した「思い出カード」のデザインや、地元で活動している「Co珈琲」とのコラボなど、親しみやすいブースの雰囲気づくりができました。



2 ママパパほっこり休憩室

日頃子育てに奮闘しているママパパに、少し子どもから離れてみる機会をつくりました。大人はゲームをしながら子育ての悩みを打ち明けたり、近隣の子育てに関するお役立ち情報を共有したり、一人ランチを満喫。その間、子どもたちは、高校生のお姉さんたちと一緒にクッキーやおにぎりをつくって食べました。今後ぜひこういう場を続けてほしいとの声もいただきました。



当日参加を呼びかける工夫が功を奏して多くの方にご参加いただき、大人同士の交流が盛り上がりました。どの方も長時間滞在してくださり、こういった場のニーズに手応えを感じることができました。



3 世界を広げるブックマルシェ

中高生の居場所づくりを目指し、子どもたちが自分のおすすめ本を持ち寄って販売する「ブックマルシェ」を実施しました。地域の大人や書店によるおすすめ本の紹介や、図書館による貸し出しも行われました。多くの方に訪れていただき、本を通じた交流の場をつくることができました。当日は付箋を使ったアンケートも実施し、70件近くのご意見をいただきました。



子どもたちが自ら本を販売することで、自信や達成感を得る機会になりました。図書館や地域の大人たちとも連携でき、多様な世代が関わる場をつくることができたことが、大きな成果でした。



4 五感とおかん〜時々おとん〜

五感を育むあそび場づくりを目指しました。公園で野草を探したり笹の葉で笛づくりをするまちあるきツアーを行い、その後、千里の魅力を伝える映像を観ながら笹の葉からつくったお茶を試飲しました。また、お土産には千里の竹でつくったコップも準備しました。終了後に、再び公園に戻り自然あそびをする子どももいるなど、千里ならではの五感を育むあそびの体験をつくることができました。



千里だからこそ、このメンバーだからこそその魅力的な企画が実現できました。また、地元の参加者から「千里の自然の魅力に気づいた」という感想をもらうなど、新たな視点で千里の魅力を感じてもらうことができました。



5 千里の青竹ふみふみ、ぽかぽか体操。ワークショップも。

千里の竹林を知ってもらい、竹を身近に感じてもらうために、千里の竹で「MY青竹踏み」をつくり、体操イベントと一緒に体を動かすプログラムを開催しました。長い竹を切り、割り、磨いて一人ひとりのMY青竹踏みを作りました。昼と午後の2回、パルフェスのステージで青竹踏みを使った体操を行い、子どもから大人まで多くの方が体験を楽しみました。



実際に千里の竹林を管理されている「千里竹の会 豊中」の協力により、竹を加工する作業を体験することができました。また「MY青竹踏み」づくりにたくさんの方にご参加いただき、今後の竹にかかわるプログラムへの期待も持てました。



6 あつまれ！竹林ひろば

-竹で音をつくって音であそぼう-

千里東町公園を会場に、千里の竹林の間伐する過程で出た竹を活用し、楽器や遊び道具づくりを行いました。竹のカスタネットづくりでは、子どもたちが真剣に竹細工を楽しむ様子が見られ、その横では、親御さんに千里の竹林の歴史や現在の取り組みについて紹介しました。また、モルックやフラフープでは、「竹でこんなものも作れるのか!」といった驚きの声も聞かれました。



「千里竹の会 豊中」のみなさんと共に竹林の間伐に取り組むことで、チームのメンバーは、竹林整備の楽しさと大変さを体験しました。その経験があったからこそ、社会実験に参加されたみなさんにも、その魅力を伝えることができました。

